

令和6年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

4年

教科	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章を正確に読みとったり、叙述を基に想像を膨らませたりすることに課題がある。（到達度70%）</li> <li>○相手や目的に応じて、伝えたいことを段落相互の関係に注意して書く力が十分ではない。（到達度70%）</li> <li>○新出漢字の定着に課題がある。（到達度65%）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文の中での語句の役割や語句相互の関係に気を付けて、文がどのように組み立てられているかを理解できるような学習の機会を増やす。</li> <li>○文章を書く前に、はじめ・中・終わりの各段落の役割について指導する。書いたあとに、伝えたいことが明確に伝わっているか推敲する時間を確保する。</li> <li>○新出漢字を使った熟語の意味を調べたり、新出漢字を使った文章を考えさせたりする活動を行う。</li> </ul>	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習内容の知識としての定着度は高い（到達度87%以上）が、思考力や表現力を働かせる場面での活用力に差がある（到達度20%～91%）。特に、資料の読み取りに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グラフや写真などの資料の見方について、「どの資料から、どんなことが言えるのか。」を考える機会を増やす。資料を理解して必要な情報を整理することに慣れるようにしていくと共に、資料の見方の練習として、写真を読み取る際に、気になった様子を丸で囲み、そこからなにが考えら得るか考えさせる。また、自分たちの生活との関連付けを意識し、関わる人々の思いを想像したり、自分たちにできることは何かを考えたりする。</li> </ul>	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観察・実験に取り組む意欲は高く、概ね、学習内容の定着度も高い（到達度87%）が、直列回路、並列回路の学習に課題が見られる。（到達度71%）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既習事項や生活の中の体験などを思い出し、科学的に根拠をもって予想や仮説を考えられるように助言する。</li> <li>○問題を解決するために、予想や仮説を検証する実験をし、考察を行うように助言をしていく。</li> </ul>	

<p>体 育</p>	<p>○授業に意欲的な児童が大半を占める一方、意欲的でない児童も数名いる。</p>	<p>○ワークシートやタブレットの動画を活用し、自分の課題を明確に把握させ、達成感を味わえるようにする。また、習熟度別に場を設定したり、スモールステップでそれぞれの達成感を味わえるよう指導したりする。</p>	
<p>総 合 的 な 学 習 の 時 間</p>	<p>○テーマを深めるにはどのような面からアプローチしたらよいか考えを広げる力に課題がある。</p>	<p>○何を調べると深まるのか、シンキングツールを使って考える時間を設定する。</p>	